HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」143号
Issue Date	2013-03-19
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66230
Type	journal
File Information	yuin143.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ISSN 0917-3684

Hokkaido University Library Bulletin No.143 Mar.2013

楡蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

目　次

「附属図書館広報の見直し」
学術システム課長　山本　和雄…… 1
お知らせ
・来館日誌（平成24年11月～平成25年２月）… 4
・本館書庫利用ガイダンスを始めました…… 5
・学生サークル「Sapollo」との協働による
パネル展示開催…… 6
・「UMass-Hokudai Library Workshop」開催… 7
・企画展示「“台湾は天然の恩恵欲なる”ー植民地
台湾を駆けた北大卒業生たち」を開催…… 8
・「少年よ、学部を選べ！」ポスター展を開催 … 9
・海外出張報告会を開催……10
・貴重資料室に木製収蔵棚が入りました……11
・平成24年度附属図書館講演会及び国立大学図書館協会
地区協会助成事業北海道地区ワーキンググループ実施
報告会を開催 …… 12
教員著作寄贈図書……14
平成24年度特別図書購入費による購入資料……15
学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献……19
会議（平成24年11月１日～平成25年２月28日）…20
人事往来……21
図書館情報入門・セミナー等開講日誌
（平成24年11月３日～平成25年２月28日）……22
図書館日誌
（平成24年11月１日～平成25年２月28日）……23

「附属図書館広報の見直し」

広報ワーキング主査
学術システム課長　**山本　和雄**

突然ですが，図書館報「楡蔭」は今回の第143号を最後として，このスタイルでの刊行は止めることになりました。その顛末も含めて，附属図書館の広報見直しについてご紹介します。

図書館の広報が上手く行っていないのではないか

「楡蔭」は，伝統的な図書館報の体裁を守って1967年から45年間発行を続けてきました。記録を残す観点からは，変わらないことにも一定の価値はあります。しかし，広報誌としては問題があると言わざるを得ません。その問題を改善する一助として，ここ数年は「楡蔭」の速報版となる「楡蔭レター」を毎月刊行してきました。ところがその「楡蔭レター」にしても，今

となっては担当者の苦労に反してどうにも手応えがありません。「ご自由にお取りください」と書かれたPOPと共に，山積みになった「楡蔭レター」が埃をかぶっているのを見かける始末です。

また，統計情報も毎年各種の記録を残しているのですが，なかには「この数値の根拠は？こっちの数値との関係は？」と聞かれる毎に返答に窮する項目もなきにしもあらず。

他にも，ここには書ききれないほど様々に気になる点が積み重なり，意を決してすべてを見直すことにしました。

見直しの体制作り

これまでの図書館広報は，それぞれの担当が縦割りで作成していました。それも気になる点のひとつでしたので，見直しに際しては組織横断的に，ボトムアップで取り組みたいと考えました。そこで先ずは平成24年度の図書館年度計画に，次の記述を盛り込みました。

“若手職員の育成を図るため，「学生協働」と「広報」についてそれぞれ新たなワーキンググループを設置し，全館的な視点に立った企画提案と具体的なイベント実施に取り組む。”

「学生協働」についてはここでは触れませんが，やはり図書館の新たな課題のひとつです。

平成24年度が始まった４月24日には２つのワーキング設置を認める館長裁定を得て，既存の各種広報物の作成担当者からフレッシュなメンバーを集めて「広報ワーキング」の活動を開始しました。

見直しに着手：誰のための広報？

広報ワーキングでは，最初に広報の全体像を整理しました。まず「誰に」向かって広報を行うのか，列挙してみたところ次の対象者が浮かび上がってきました：学生，院生，教員，新入学生，新入院生，新入教員，一般市民，受験生・その保護者，大学役員，事務職員，他大学図書館職員，文科省関係者，図書館関連組織団体，北大の図書館職員。次に，これらの対象者に向けて「何を」「いつ」「何のため」「どうやって」「誰が」広報するのかを検討しました。

その検討結果を念頭に，現時点での図書館広報物の位置付けはどうなっているのか，バランスを確認しました。現時点での広報物とは次のとおりです：附属図書館概要，楡蔭，楡蔭レター，年報，HUSCAPレター，利用案内（本館，北図書館），図書館ホームページ。

新たな枠組みの提案

これらの検討確認作業を踏まえて，新たな広報の枠組みを館内で提案し，何回かの軌道修正を経て，以下のような合意に至りました。

- 図書館の広報物は，広報，活動記録，統計の３つの目的を満たすことが必要。
- 「楡蔭」は広報と活動記録を担い，学生向けの広報誌とする。
- 「年報」は活動記録と統計を担う。
- 「概要」は広報と統計を担い，２種類発行する（名刺代わりとしてパンフレット形式で要点を示すものと，読本として来歴などを判り易く解説するもの）
- 「HUSCAPレター」と「利用案内」はさらに広報に特化する。
- 新たな広報手段として「Facebook」を導入する。

既存の広報物は平成24年度をもってその役割を終え，順次新たな広報物へと姿を変えて行くことになります。平成25年度以降の新たな広報に取り組んでいく組織としては，１月31日付け館長裁定を得た「広報委員会」が４月１日から発足することになりました。

新たな図書館広報へ：新たな図書館の創造

さて，ここまで見直しの経緯をご説明してきました。思い返せば，既存の図書館広報は，ほ

とんどがこのような経緯や状況の説明に始終してきました。例えば「図書は 8 冊借りることができます」「本日の閉館時間は10時です」「展示会を開催します」など。しかしそれらは本当に広報と言えるものだったでしょうか？

街を歩けば様々なポスターが目に入ることでしょう。テレビを見れば，朝から晩までコマーシャルが流れています。これら世間の広報は，図書館の広報のように，経緯や状況の説明や，禁止事項の言い訳ばかりしているでしょうか？そうではないだろうと思います。

世間にあふれている広報は，単に広報する側の立場や事情を説明するのではなく，それらの事実を背景に踏まえつつ，広報を目にする人々にとっての新たな価値や魅力を提案しています。そのような価値や魅力は，広報に引きつけられた人々が反応し行動することによって初めて実現するものです。最初からそこにあったわけではありません。

今後の広報活動を通じて，新たな北大図書館が創造されていくことを期待します。



これまでの広報物

お知らせ

来館日誌

（平成24年11月～平成25年２月）

No.	来　館　者	来館日	時　間	人数	備　考
1	札幌大学文化学部川上研究室 川上淳先生　他	11月６日（火）	11:00-12:00	20	図書館見学
2	マサチューセッツ大学アマースト校 理工学図書館 マキシン・シュミット氏　他	11月13日（火） ～14日（水）		2	図書館見学および 情報交換会
3	中華人民共和国駐札幌総領事館 李涛領事	11月26日（月）	10:00-11:00	1	資料調査
4	東京工業大学情報図書館課 小野理奈利用支援グループ長　他	12月６日（木）	14:00-18:00	2	図書館見学
5	秋田大学附属図書館 川村眞情報推進課長	１月15日（火）	15:00-16:00	1	図書館見学
6	KiSTi（韓国） Dept. of Overseas Information Moon, Jung Ho 氏　他	12月17日（月）	11:00-12:00	2	電子資料に関する 打合せ
	計			28	

本館書庫利用ガイダンスを始めました

附属図書館本館の書庫資料は，改修工事及びその後の書庫内図書再配置作業を経て10月17日（水）に全面利用再開となりました。これに伴い，今後は学部学生も書庫利用ガイダンスを受講することを条件に，本館書庫へ直接入庫して利用することができるようになりました。

本ガイダンスでは，実際に入庫して書庫内の各フロアをご案内しています。学部学生向けの説明内容ですが，すでに書庫に入庫できる大学院生や教職員等の方も参加できます。

書庫利用ガイダンスは11月６日（火）より定期的に開催しています。参加ご希望の方は開催日前日の12時までに本館カウンターにお申込みください。今後の開催日時は図書館ホームページまたは館内掲示で確認することができます。

また，ゼミ等での団体での書庫利用ガイダンスも随時受け付けています。日時や説明内容等をご要望に合わせてカスタマイズすることも可能です。こちらをご希望の方は情報リテラシー担当(ref@lib.hokudai.ac.jp)までお知らせください。



書庫利用ガイダンスの様子

（利用支援課）

学生サークル「Sapollo」との協働によるパネル展示開催

附属図書館は，本学の学生サークル「北海道大学図書館サークルSapollo」（*）と協働で様々な催しを企画していますが，10月から11月にかけて，メディアコートで２つの展示を開催しました。

■パネル展示「ビブリオバトル・ノート～北大ビブリオバトルを振り返る～」

10月22日（月）～11月9日（金）

５月から７月までに開催した第１回～第３回の「北大ビブリオバトル」と，９月に附属図書館の主催で開催した「ビブリオバトル北大予選会～首都決戦への道～」を振り返るパネル展示を開催しました。

バトラー（出場者）が紹介した本の一挙公開や，バトラーの生の声，実行委員や観戦者から寄せられた感想などをイラストや写真を交えて掲載するなど，バトラーと観戦者の熱気が伝わってくる展示になりました。アンケートには「またビブリオバトルを開催してほしい」「自分も参加してみたい」といった声が寄せられました。

■パネル展示「北大経由，文壇行き―北大から世に出た現代作家たち」

11月13日（火）～11月30日（金）

北海道大学で学んだ現代作家と本学とのつながりに焦点をあて，熟練の作家から若き気鋭の作家まで６人を選び，その人と作品をパネルで紹介しました。

取り上げた作家は「東　直己」「富樫　倫太郎」「穂村　弘」「赤染　晶子」「水原　涼」「工藤　水生」で，いずれも北海道大学で学生生活を過ごし，魅力あふれる作品を著している文人ばかりです。北大生にも刺激となる人物像と個性的な作品群の紹介に，「作家のセレクトが面白い」「実際に読んでみたい」「６人の作家を身近に感じた」などの感想がきかれました。



「ビブリオバトル・ノート」展示風景



「北大経由，文壇行き」展示風景２景



*「北大ビブリオバトル実行委員会」は11月にサークル名を「北海道大学図書館サークルSapollo」に改称しました。

（利用支援課）

「UMass-Hokudai Library Workshop」開催

本学協定校であるマサチューセッツ大学(UMass)アマースト校理工学図書館のマキシン・シュミットさんをお迎えして，11月13日（火）本館大会議室において「UMass-Hokudai Library Workshop」を開催しました。このワークショップでは，図書館職員が，北大および北大図書館と図書館の情報リテラシー教育支援を紹介する英語発表を行いました。シュミットさんからは，マサチューセッツ大学アマースト校図書館のサービスの紹介，特に留学生へのサービスに視点を置いた発表がありました。途中休憩をはさみ，本学所蔵の北方資料「東西蝦夷山川地理取調図」（1859年）などを紹介し，後半は先の発表を元にディスカッションを行いました。ここでは，マサチューセッツ大学図書館の活動や日米の図書館サービスの違い，留学生へのサービスなどについて話し合いました。マサチューセッツ大学におけるアジア系の留学生は，図書館を使ってよく勉強するが図書館員に質問することが少ないので，どのように彼らとコミュニケーションをとるか，それが課題であるとのことでした。

このワークショップには，全学の図書館職員18名のほか，国際本部から７名，アカデミック・サポートセンターから２名の参加をいただき，マサチューセッツ大学の学修支援機能について情報を共有する良い機会となりました。

また，翌日11月14日（水）は，農学部，理学部，工学部の各図書室や総合博物館を見学しました。マサチューセッツ大学アマースト校の中央図書館では，ラーニング・コモンズにおいて数々の学修支援を行っているので，これを機会に今後も情報交換や交流を続けていきたいと考えております。



講演するシュミットさん



北方資料見学



参加者による記念写真

（利用支援課）

企画展示「“台湾は天然の恩恵裕なる”――植民地台湾を駆けた北大卒業生たち」を開催

附属図書館正面ロビーにおいて，附属図書館と大学文書館共催の企画展示「“台湾は天然の恩恵裕なる”ー植民地台湾を駆けた北大卒業生たち」を開催しています。

戦前期，多くの札幌農学校・北大卒業生が台湾に渡り，台湾総督府官吏，農事試験場技師，製糖会社経営者，大学・農業学校の教員などとして，日本による台湾植民地統治を下支えしました。同時に，台湾へ様々な学術・技術を持ち込みました。

この展示では，附属図書館と大学文書館が所蔵する資料と解説パネルなどで，植民地台湾を駆けた卒業生たちの人物と活動を紹介し，彼らの担った歴史的役割の多面性を考えます。

今回の展示は，渡台時期による特長に従い，3 期に分けて開催します。期間は 1 期ごとに 4 か月です。今年度は第 1，2 期を開催しています。

≪第1期：　統治≫　台湾総督府の実務を担って
期間：　2012年８月３日～2012年11月30日
≪第2期：　技術≫　試験場・研究所の技師として
期間：　2012年12月４日～2013年３月31日
≪第3期：　学問と実業≫　高等農林・帝大と民間企業において
期間：　2013年４月１日～2013年７月31日（予定）



（利用支援課）

「少年よ，学部を選べ！」ポスター展を開催

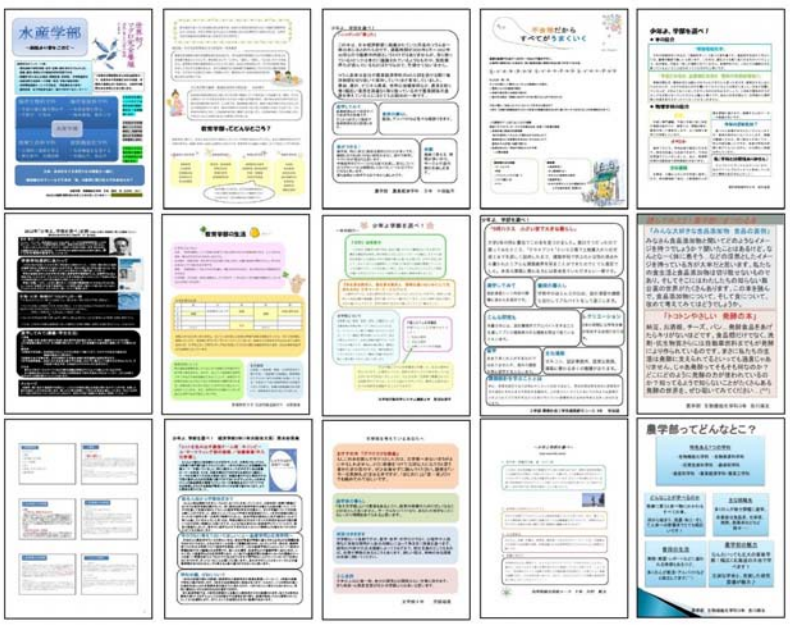
北図書館では，1 月 7 日（月）から，1 階ロビーにて「少年よ，学部を選べ！」ポスター展を開催しています。

これは，昨年 9 月末開催の本企画で使用したポスターを，学部選択の時期が近づいてきたため，再度，展示したものです。新入生にも参考にしてもらえるよう， 4 月30日（火）まで行っています。



展示スペース





展示されているポスター（一部）

（北図書館）

海外出張報告会を開催

１月11日（金），附属図書館大会議室において，本学附属図書館職員による「北海道大学附属図書館海外出張報告会」を開催し，学内外から30名の参加がありました。

この報告会は，当該年度に図書業務に関する海外出張を行った本学附属図書館職員が，当該出張により得られた図書館として今後取り組むべき課題や最新情報について，本学及び道内各国立大学図書系職員に発表し，情報の共有化を図ることを目的とし，開催しました。

報告会の題名と報告者は次のとおりです。

１．「米国カリフォルニア州大学図書館訪問レポート」
　　村木麻衣子　：北海道大学附属図書館利用支援課事務職員

２．「リポジトリで世界とつながる：COAR（*）第３回年次集会（スウェーデン）参加報告」
　　城　　恭子　：北海道大学附属図書館学術システム課事務職員

報告会では，最初に望月副館長から「今日の報告を聞いて，広い視野やビジョンを得てほしい」と開催の挨拶がありました。続いての「米国カリフォルニア州立大学図書館訪問レポート」では，「電子書籍の利用及び電子資料を活用した学習環境」について，カルフォルニア州の大学図書館４カ所の先進事例の報告がありました。次に，スウェーデンで開催された「COAR第３回年次集会」の概要と各国の事例報告の紹介，今後の活動計画について報告がありました。最後に，片山事務部長より国立大学図書館協会海外派遣事業の説明があり，今後も道内から派遣したいとの挨拶がありました。



報告者：村木



報告者：城



質問をする参加者

*「COAR」とは Confederation of Open Access Repositoriesの略で，2009年に発足した国際的なオープンアクセスリポジトリ連合のこと。

（管理課）

貴重資料室に木製収蔵棚が入りました

貴重資料室に１月25日，新しく木製収蔵棚が設置されました。

これは，田嶋記念大学図書館振興財団（*）からの助成金で購入したものです。

形態や大きさの異なる軸物・図類を，それぞれの資料に合わせて引き出しやスライドレールなどを設計した特注品です。筒に入れたままの軸などをより適切な環境で保管することができるようになりました。





＊財団法人田嶋記念大学図書館振興財団は，大学図書館の図書・文書・資料等及びそれらの管理設備等の整備に対する助成と，図書・文書・資料等の保管システム，管理システム及び保存技術に関する研究助成を行うことにより，大学図書館の一層の充実，発展を図り，もって国際社会における我が国の文化水準の向上，発展に寄与することを目的として平成5年に設立されたものです。

附属図書館では，平成23年度に，主に軸物と図類を収蔵・保存する備品を購入するための補助金を申請し，受理されました。

（利用支援課）

榆　　蔭（北大図書館報）

平成24年度附属図書館講演会
及び国立大学図書館協会地区協会助成事業
北海道地区ワーキンググループ実施報告会を開催

11月16日（金），文系共同講義棟において，附属図書館と国立大学図書館協会北海道地区協会の主催による附属図書館講演会及び国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区ワーキンググループ実施報告会を開催し，学内外から70名の参加がありました。

前半の講演会では，「大学図書館における学習支援の可能性」と題して，講師に苫小牧工業高等専門学校非常勤講師の斉藤準先生をお招きしました。先生は本年９月まで本学高等教育推進機構教育支援部アカデミック・サポートセンター（アカサポ）の特定専門職員として，学習支援に尽力された経験をもとに，次のような講演をされました。

最初に，「近年の大学教育改革」について話され，今，大学教育に求められていることは学生が主体的に学習に取組み，汎用的能力を身につけることであり，これを支援するために，授業内容の改善や授業外の人的支援や学習環境整備に取り組む大学の現状を紹介されました。

次に，「大学図書館の学習支援」として，全学的視点から図書館を中立で学生にとって便利な場所と位置付け，図書館が学習支援を行う必然性と今後の図書館学習支援は学生が勉強しやすい学習環境に整備し，館内で学生や専門職員による人的支援と，そのために学生や教職員，他部署との連携・協働が必要なことを他大学図書館の事例を交え，話されました。

最後に，「学内協働による可能性」として北大で行った図書館とアカサポの協働による共催セミナーの試行を紹介されました。短い準備期間で，一部局単独で行うより充実した内容を提供できたことは，お互いの得意分野の補完によるもので，学内協働は有効で今後ますます重要と話され，講演を終了しました。

休憩を挟み，後半の報告会は，国立大学図書館協会の地区協会助成事業として，北海道地区協会が採択された「学生協働活性化のためのシーズ開発」事業の実施報告です。実施にあたり，北海道地区の７大学は独自の学生協働企画を立案し，各大学の若手・中堅職員によるワーキンググループを立ち上げ，本年５月に着手報告会を北大で行いました。今回は各企画を実施した結果をもとに，実施概要及び期待しうる効果や今後の課題をメンバーが報告しました。

参加者からは「多くの協働事例やその効果を聞いて，今後の参考にしたい，刺激を受けた」との声が多く寄せられ，これから図書館が学内協働による「学習支援」を検討する上で，非常に有意義な会となりました。



講演会で講演する斉藤先生



報告会で発表する７大学のワーキンググループメンバー

実施報告会のタイトルおよび報告者名

１．「学生が学生に勧める学部選択のための参考となる図書の紹介・書評」
　　菊池満史 北海道大学附属図書館利用支援課係長

２．「図書館学生サポーターとの協働による図書館活性化プロジェクト」
　　赤坂恵理子 北海道教育大学事務局学術情報室係長

３．「柔軟性のある持続的な学生と協働した読書推進活動の試行」
　　千葉ななえ 室蘭工業大学図書・学術情報事務室運用ユニットスタッフ

４．「クラスライブラリアン制度の試行」
　　高橋欣瑛 小樽商科大学学術情報課図書係員

５．「「学生読書推進プロジェクト」及び「図書館ミニミニガイダンス」における学生との連携」
　　大平依理子 帯広畜産大学教育研究支援部学術情報管理係長

６．「闘病記分類の学生協働と医学教育効果への期待」
　　糸林真優子 旭川医科大学教務部図書館情報課情報管理係主任

７．「Kit Library学生協働プロジェクト“コラボS-Lib”」
　　磯本善男 北見工業大学情報図書課係長

（管理課）

教員著作寄贈図書

（平成24年10月 1 日～平成25年 2 月28日）

寄贈者（敬称略）	所属部局	寄贈図書	所在
瀬川　信久	法学研究科	システム複合時代の法 / グンター・トイブナー著 ; 瀬川信久編 ; 尾崎一郎, 毛利康俊解題 ; 尾崎一郎［ほか］訳. - 信山社, 2012	本館･開架･教員著作
宇都宮輝夫	文学研究科	宗教の見方 : 人はなぜ信じるのか / 宇都宮輝夫著. - 東京 : 勁草書房 , 2012.9	本館･開架･教員著作
古川　義純	低温科学研究所	Physics and Chemistry of Ice, 2010 /edited by Yoshinori Furukawa ... [et al.]. - Sapporo : Hokkaido University Press , c2011	本館･開架･教員著作 北図書館･一般図書
妙木　忍	創成研究機構	女性同士の争いはなぜ起こるのか :主婦論争の誕生と終焉 / 妙木忍著. - 東京 : 青土社 , 2009.11	本館･開架･教員著作 北図書館･一般図書
佐藤　猛	秋田大学教育文化学部（元文学研究科）	百年戦争期フランス国制史研究 : 王権・諸侯国・高等法院 / 佐藤猛著. - 札幌 : 北海道大学出版会 , 2012.10	本館･開架･教員著作

ご恵贈誠にありがとうございました。
図書館では本学教員が執筆した図書を収集しています。新たに本を出版される際には，是非ご恵贈くださるようご協力お願いいたします。また，北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき，北京大学との交換用にもう１冊分，ご寄贈くださいますようご協力をお願いいたします。とりまとめは，附属図書館で行います。

平成24年度特別図書購入費による購入資料

特別図書購入費は，人文社会科学系の大学院における教育研究に必要な基本的図書資料を整備充実することを目的とした経費です。文学・法学・経済学各研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，公共政策大学院に資料の選定をお願いした結果，今年度の購入資料が決定されましたのでお知らせします。ご協力まことにありがとうございました。これらの資料は納品され，整理が済み次第，順次，本館の書庫等に配置します。

（洋書）

● Beauty of books = **美しき書物の世界**. - [Tokyo] : Maruzen , [2010]. （**DVD全４巻**）

世界最古の聖書から現代の小説まで，書物の歴史を辿る英国BBC制作のシリーズ。英国の図書館に所蔵されている貴重な書物の背景，当時の世界観，その書物が後に与えた影響などを紹介する。昨年度購入した「Beauty of maps = 美しき古地図の世界」に続く２作目の企画。

● Critical discourse analysis （Sage benchmarks in language and linguistics）. -- Sage, 2012-2013 （**批判的ディスコース分析　全４巻**）

社会が生産するコンテクストにおける言語に含まれる社会的・政治的な不平等や差別に注目し，言語と社会の関係を探る研究分野である批判的ディスコース分析（CDA）の論文集。社会言語学，政治学，人類学，心理学，文学，メディア・コミュニケーション研究，人種・ジェンダー研究，文化研究，組織研究などの多様な分野にかかわる。

● Deutschland im Wiederaufbau : T ä tigkeitsbericht der Bundesregierung f ü r das Jahr, 1950-1959. / Deutsche Politik, 1960-1966. Bonn, Prese- und Informationsamt der Bundesregierung, 1951-1967. 17 vols. 2011.（**復興期ドイツ政府報告書1950-1966年　全17巻**）

第二次大戦で壊滅的な打撃を受けたドイツが，1950～60年代半ばに遂げた「奇跡の復興」について，西ドイツ政府が克明に記録し分析した報告書の集大成。復興過程から高成長期における政治・経済・社会問題についての政府の認識・対応・方針を網羅的にまとめた資料。

● The Encyclopedia of Applied Linguistics. Wiley-Blackwell, USA.
（**応用言語学事典　全10巻**）

応用言語学の各主題に関する1,100件の解説記事，主要人物250人の伝記情報を網羅する事典。内容は「バイリンガル及びマルチリンガル教育」「言語政策と言語計画」「言語教育と学習」「評価とテスト」「コーパス言語学」「ディスコース」「会話分析」「言語の神経生物学」「リテラシー」「テクノロジーと言語」など27分野をカバー。

● ①Financial Reform. A Legislative History of the Dodd-Frank Wall Street Reform and Consumer Protection Act, Public Law No.111-203 (2010). 15 vols., 2011.. Bridge Publishing Group LLC, US. **(米国金融規制改革法（ドッド＝フランク法）制定資料集　全15巻)**
②Reforming Financial Reform: Efforts to Amend the Dodd-Frank Wall Street and Consumer Protection Act. 4 vols., 2012. Bridge Publishing Group LLC, US. **(ドッド＝フランク法「改正・修正」資料集　全４巻)**

アメリカ合衆国において，2010年７月21日オバマ大統領の署名を受けて成立した包括的な金融規制法（ドッド=フランク法）の制定過程に関する総合資料集。①は法案と付属資料，②は議会報告，改正案，修正案，公聴会記録，議事録。

● The International Law of Peace and Security / White, Nigel D. (ed.)　**(N.D.ホワイト編　平和と安全保障の国際法　全４巻)**

国際社会の平和と安全保障について，国際法のあり方およびその果たす役割をテーマに，すぐれた論文から構成される統合的な学術書。現代社会で問題となっている大量破壊兵器やテロリズムの動向，テロ対策法，軍備管理法，武力行使禁止手段の幅広い法の適用等，非常に多くの分野を広範囲に扱う。

● Language evolution / edited by W. Tecumseh Fitch and Gesche Westphal Fitch . -- Routledge, 2012. **(言語進化研究　全４巻)**

生物学，言語学，心理学，神経科学，人類学，コンピュータ科学，哲学などの分野との融合により急速な進展を遂げている言語進化の研究を総括的に収集した論文集。聖書，プラトンやアリストテレス，コンディヤックやルソーなどのテクストの抜粋などから始まり，共通基礎語概念の検証，スピーチ・発話能力の進化に関する考察，チョムスキー的アプローチとダーウィニズムとの融合を試みた文献，コンピュータモデリングに基づいた新らしいアプローチに至るまでを網羅。

● The Library of Essays in International Humanitarian Law. **(国際人道法論文叢書　全６巻)**

人道の観点から国際的な武力紛争において適用されることになっている一連の国際法である国際人道法の進展や，国内・国際裁判所や戦場での人道法の適用についてのレファレンス。20世紀に公にされた人道法分野の研究の中から最も重要なものを選んで収録。

● The Max Planck Encyclopedia of Public International Law. **(マックス・プランク国際公法百科事典　改訂版　全10巻　及び　同索引)**

マックス・プランク外国公法・国際法研究所の編集で作成された国際公法の事典。学術的に大変価値が高く，学界及び実務で非常に好評であった初版を全面改訂した第２版。世界の第一線で活躍する800名以上の専門家が執筆に参加し，国際法理論の全容を全2000項目近くで解説。刑法，環境法，経済法といった下位分野まで網羅。

● Security Dialogue. vol.38（2007）-vol.42（2011）. Sage.（安全保障対話）

国家安全保障に関する最重要な学術誌。主要フォーラムには，世界中から常に注目すべき論文が掲載され，経験的なデータから理論的な考察に至るまで，新しいアプローチを提供。ジェンダー，社会学，経済，思想，宗教，芸術，人類学，心理学，哲学など，実に幅広い分野にまたがる論文を掲載。

（和書）

● 朝日新聞外地版　第10回配本　1945年　全2巻・別巻1．ゆまに書房

朝日新聞社が，台湾，朝鮮，満洲国などの読者を主な対象として発刊した「（大阪）朝日新聞」の「外地版」の集成復刻。発行された1935-45年のほぼ全期間を収録。第10回配本は南鮮版，中鮮版，北西鮮版，満州版，北支版，中支版と解説からなる。昨年度までに第1回～第9回配本を購入済。

● 沖縄教育　第31-37巻　第6回最終配本．不二出版

沖縄県教育会機関誌として1906～1944年に刊行された「沖縄教育」の復刻版。近代沖縄教育史の解明にあたって基本となる資料群。昨年度までに第1回～5回配本の全30巻を購入したシリーズの最終配本。

● 子どもの人権問題資料集成　編集復刻版　全10巻．不二出版

子どもの養護，保護教育，少年保護，虐待等の主題のもと，戦前期日本全国の関係施設・団体の年報や機関誌，パンフレット等の重要資料を収録し，主題ごとに解説を付与。近現代の子どもが直面してきた厳しい現実を明らかにし，今日的にも緊要な課題を長期的な視野で捉えるための資料集成。

● 精神障害者問題資料集成　編集復刻版　戦前編　全9巻　六花出版

わが国の精神障害者の処遇に関するあらゆる分野の資料の集成。各地の「私宅監置」の調査書，患者とともに苦悩する家族や医療者の言説，取締法規，帝国議会議事録，統計，植民地での対策等約250点を収録。

● 全国商工会議所関係資料第2期　東アジア日本人商工会議所関係資料　Ⅲ　中国関内・その他外地DVD6枚セット．雄松堂

国内各地の図書館に所蔵されていた戦前期の東アジア64都市の日本人商工会議所刊行物を，東京商工会議所と研究者の協力により網羅的に収集したDVD。当時の各都市における日本人の経済活動が生き生きと記録された内容。

● 中国仏教史 / 鎌田茂雄　全6巻．東京大学出版会

東アジア仏教圏の中核である中国仏教の全体像を，初伝期，受容期，南北朝，隋唐代の時代区分に基づき叙述。中国仏教および漢訳仏典研究の基礎的資料であるばかりでなく，インド仏教研究等，広く仏教学全般に資する研究書。

● **日本立法資料全集別巻プラス１－５　旧労組法・改正労組法立法関係原資料１巻－５巻　2012年. 信山社**

日本の戦後労働法制をリードしてきた制定法規範である労働組合法について，その制定時の立法資料を整理・収録した一次資料。制定時の条文文言の変遷及び規定内容の変遷を，国会を通過した成立法案まで日付を追って順に記録。昭和20年（1945年）12月に制定された旧労働組合法から資料が収録されているため，ＧＨＱの指導の下に４年後に全面改正されるに至った経緯をも垣間見ることができ，今後の労働組合法研究における必須の参照文献。

● **尾州家河内本源氏物語　第１－６巻 八木出版**

名古屋市蓬左文庫が所蔵する尾州家「河内本源氏物語」全54巻23冊（重要文化財）をカラー版オフセット印刷により影印刊行。尾州家「河内本源氏物語」は，鎌倉時代に源光行，親行父子による源氏物語本文の研究・校訂によって作成された河内本の最古写本として伝わる。

学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献

（平成24年10月 1 日～平成25年 2 月28日）

新たに，731名の研究者の方々からご提供いただいた1482件の文献を公開しました。
また，13研究科等の28タイトルの紀要（文献377件）も公開しました。
HUSCAPについて詳しくは，下記URLをご覧ください。。
http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/

附属図書館では，本学の研究者が執筆した論文や学会発表資料等の文献を収集し，HUSCAPにて保存・公開しています。
新たに論文等を発表された際には，repo@lib.hokudai.ac.jpへファイルをお送りください。
ご協力よろしくお願いいたします。

会議（平成24年11月１日～平成25年２月28日）

【学　内】

◎図書担当係長連絡会議

〇平成24年度第２回〈11月15日（木）〉

◎図書選定小委員会

〇平成24年度第４回〈11月20日（火）〉

◎学術成果発信小委員会

〇平成24年度第２回〈12月10日（月）〉

◎資産管理担当者連絡会

〇平成24年度第１回〈12月17日（月）〉

◎学術成果刊行助成審査委員会

〇平成24年度第２回〈12月20日（木）〉

◎学術研究コンテンツ小委員会

〇平成24年度第２回〈２月13日（水）〉

【学外】

◎第86次国立七大学附属図書館協議会及び第11回国立七大学附属図書館長会議

並びに第45回国立七大学附属図書館事務部課長会議〈１月23日（水）〉（京都大学）

◎国立大学図書館協会

〇秋季理事会〈11月13日（火）〉（九州大学）

〇北海道地区協会事務部課室長会議〈11月30日（金）〉（北海道大学）

〇人材委員会〈１月25日（金）〉（香川大学）

◎日本医学図書館協会

〇平成24年度第１回地区会事務局連絡会議〈12月４日（火）〉（日本医学図書館協会中央事務局）

〇北海道地区総会〈２月15日（金）〉（北海道大学）

◎北海道図書館連絡会

〇平成24年度第２回北海道図書館連絡会議〈12月19日（水）〉（北海道立図書館）

◎北海道地区大学図書館協議会

○平成24年度第１回幹事館会議〈12月６日（木）〉

○第56回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（第１回）〈１月18日（金）〉（北海道大学）

◎北海道図書館大会

○第55回北海道図書館大会第１回運営委員会〈12月19日（水）〉（北海道立図書館）

○第55回北海道図書館大会第２回運営委員会〈１月29日（火）〉（北海道立図書館）

人事往来（平成24年11月１日～平成25年２月28日）

【平成24年11月16日付発令】

［退職］

辻村　和美　附属図書館利用支援課（本館閲覧担当）

【平成24年12月31日付発令】

［退職］

南　　美江　附属図書館利用支援課付（工学系事務部）

図書館情報入門･セミナー等開講日誌(平成24年11月３日～平成25年２月28日)

図書館情報入門（計２回）

日　程	曜日	講義題目（時間 90分）	所　　属	担当教員	受講人数
11月６日	火	動物たちの驚異的で不思議な能力について調べてみよう	獣医学研究科	葉原　芳昭	22
12月６日	木	建築と都市	工学研究院	小澤　丈夫	21
				受講人数計	43

文献探索ワークショップ（計３回）

日　程	曜日	講義題目	所　　属	担当教員	受講人数
11月19日	月	日本経済史	経済学研究科	内藤　隆夫	11
12月12日	水	インターネットを使った検索：国連資料を中心に	文学研究科	瀬名波栄潤	12
１月11日	金	看護研究I	保健科学研究院	鷲見　尚己	68
				受講人数計	91

データベース等講習会（計15回）

日　程	曜日	題　　目	開講場所	受講人数
11月27日	火	OECD iLibrary講習会（日本語）	附属図書館	5
11月27日	火	OECD iLibrary Workshop（英語）	附属図書館	3
11月27日	火	SciFinder講習会　基礎編	薬学部	13
11月28日	水	SciFinder講習会　中級編	工学部	5
11月28日	水	SciFinder講習会　中級編	薬学部	8
11月29日	木	SciFinder講習会　中級編	理学部	4
12月11日	火	EndNoteセミナー	環境科学院	5
12月11日	火	EndNoteセミナー	工学部	9
12月11日	火	EndNoteセミナー	歯学部	8
12月12日	水	EndNoteセミナー	理学部	12
12月12日	水	EndNoteセミナー	薬学部	21
12月13日	木	EndNoteセミナー	附属図書館	6
12月13日	木	EndNoteセミナー	医学部	29
12月20日	木	LEX/DBインターネット	附属図書館	3
12月21日	金	LEX/DBインターネット	附属図書館	3
			受講人数計	134

ライブラリーセミナー（計２回）

日　程	曜日	題　　目	開講場所	受講人数
２月18日	月	論文・レポートを書く前に 1. テーマ設定のコツ (アカデミック・サポートセンター× 附属図書館スキルアップセミナー)	附属図書館	13
２月22日	金	論文・レポートを書く前に 2. 書き方のポイント （アカデミック・サポートセンター× 附属図書館 スキルアップセミナー)	附属図書館	19
			受講人数計	32

本館書庫利用ガイダンス　（定期開催19回・団体４回　計23回）　　受講人数計　165

図書館日誌（平成24年11月１日～平成25年２月28日）

月日	項　　目
11月	
1	「北大研究者の強みを知る」講習会（利用支援課）
6－9	大学図書館職員短期研修（東京大学） （利用支援課、学術システム課）
6－	書庫利用ガイダンス（利用支援課）
9	第6回図書選定小委員会職員委員定例会 防災避難訓練（本館）
13	国立大学図書館協会秋季理事会（九州大学） （館長、部長、管理課長）
13－14	UMass-Hokudai Library Workshop（副館長，管理課，利用支援課，学術システム課）
14	平成24年度第8回ホームページ委員会
15－16	目録システム地域講習会（雑誌コース）（管理課）
15	平成24年度第2回図書担当係長連絡会議
16	平成24年度北海道大学附属図書館講演会及び国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区ワーキンググループ実施報告会
19－20	事務情報化講習会ACCESS初級編第2回（利用支援課、管理課）
20	平成24年度第4回図書選定小委員会
20－22	第14回図書館総合展（パシフィコ横浜）（管理課、利用支援課，学術システム課）
21	第9回DRFワークショップ（パシフィコ横浜）（学術誌システム課長、学術システム課）
22	第8回修学支援懇話会
27	文書等保存利用機関・団体等職員研修会（北海道立文書館）（利用支援課）
30	平成24年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議（学術交流会館）（部長，管理課長，利用支援課長，学術システム課長）
12月	
3	平成24年度障害者サービス担当職員向け講座 （国立国会図書館関西館）（利用支援課） 平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム （千葉大学）（管理課、利用支援課）
4	平成24年度第1回地区会事務局連絡会議（日本医学図書館協会中央事務局）（利用支援課長）
4	第6回 SPARC Japan セミナー 2012（NII）（管理課）
5	平成24年度第9回ホームページ委員会 DRF CAIRSS meeting(東京オフィス）（管理課）
6	平成24年度第1回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議（利用支援課長，利用支援課課長補佐）
7	OCID2Scoupus講習会（学術システム課） 第2回「新渡戸カレッジ」関係イベント検討WG（管理課，利用支援課，学術システム課）
10	平成24年度第2回学術成果発信小委員会
12	第7回図書選定小委員会職員委員定例会
14	AED講習会

月日	項　　目
12月	
17	平成24年度第1回資産管理担当者連絡会 第2回図書館再生事業報告書ワーキング
17-20	次期システム標準機能説明会
19	平成24年度第2回北海道図書館連絡会議・「第55回（平成25年度）北海道図書館大会」第1回運営委員会 （北海道立図書館）（利用支援課長） AED講習会 第3回図書館再生事業報告書ワーキング
19-21	事務情報化講習会ACCESS中級編（管理課）
20	第9回修学支援懇話会 平成24年度第2回学術成果刊行助成審査委員会
1月	
7－4/30	「少年よ，学部を選べ！」ポスター展（北図書館）
11	平成24年度海外出張報告会
16	平成24年度第3回楡蔭編集委員会
17	「図書館年鑑2013」第2回北海道ブロック協力者会議 （北海道立図書館）（利用支援課長）
18	第56回北海道地区大学図書館職員研究集会第1回企画委員会（利用支援課）
21	第8回図書選定小委員会職員委員定例会
23	第86次国立七大学附属図書館協議会及び第11回国立七大学附属図書館長会議並びに第45回国立七大学附属図書館事務部課長会議（京都大学）（館長、部長、管理課長） 平成24年度第9回ホームページ委員会
24	国立大学図書館協会学術情報流通セミナー（東京大学） （管理課） 第10回修学支援懇話会
25	国立大学図書館協会人材委員会（香川大学 ）（部長）
29	「第55回（平成25年度）北海道図書館大会」第2回運営委員会（北海道立図書館）（利用支援課長）
2月	
4	平成24年度目録システム/ILLシステム講習会担当者会議（NII）（学術システム課）
7	第1回次世代北図書館検討ワーキング
13	平成24年度第2回学術研究コンテンツ小委員会 第2回次世代北図書館検討ワーキング
15	日本医学図書館協会北海道地区総会（利用支援課長，利用支援課）
19	第7回SPARC Japanセミナー2012（NII）（学術システム課長）
20	arXiv.org説明会、Justice設立準備総会（NII）（学術システム課長）
19-21	新図書館情報システム業務研修（閲覧・所蔵/ILL）
21	第11回修学支援懇話会
25	新図書館情報システムサービスイン
28	ルクセンブルグRTLテレビ撮影（本館） 第1回広報準備委員会

北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん)　**第143号**　平成25年３月19日発行

〈編　集〉　「楡蔭」編集委員会

〈発　行〉　北海道大学附属図書館　〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目
TEL ： 011-706-2967　FAX ： 011-747-2855　ホームページ　http://www.lib.hokudai.ac.jp